



## 2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月8日

上場会社名 株式会社 クエスト  
コード番号 2332 URL <https://www.quest.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 岡 明男  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 (氏名) 小泉 裕  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 050 - 3785 - 3965

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	10,588	0.0	791	6.1	840	6.1	565	6.3
2023年3月期第3四半期	10,583		843		895		603	

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 579百万円 ( 3.4%) 2023年3月期第3四半期 600百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	105.63	
2023年3月期第3四半期	113.05	

1) 当社は、2022年3月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2023年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

2) EBITDA 2024年3月期第3四半期: 9億70百万円 2023年3月期第3四半期: 10億15百万円  
EBITDAマージン 2024年3月期第3四半期: 9.2% 2023年3月期第3四半期: 9.6%  
上記の算式は、添付資料P2「当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」を参照

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	8,916	6,607	74.1	1,234.15
2023年3月期	9,042	6,265	69.3	1,171.47

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 6,607百万円 2023年3月期 6,265百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		46.00	46.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				46.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	2.1	940	3.7	985	4.7	658	4.7	123.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	5,487,768 株	2023年3月期	5,487,768 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	133,579 株	2023年3月期	139,019 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	5,352,073 株	2023年3月期3Q	5,335,820 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P3「当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)におけるわが国経済は、個人消費や求人倍率の改善等、緩やかな回復基調にある一方で、円安による資源及び原材料価格の上昇、長期金利の上昇等の影響により依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループが属する情報サービス産業においては、経済産業省の「特定サービス産業動態統計調査2023年11月分確報」の情報サービス業の売上高合計は、前年同月比3.3%の増加となりました。主力の「受注ソフトウェア」は前年同月比7.6%増加、「システム等管理運営受託」は同1.3%増加となり、クラウドサービスやセキュリティサービス、既存システムの刷新等により引き続き増加基調で推移しました。当社においては、主要顧客である半導体分野顧客の投資抑制の影響を受けたことにより、売上高は前年同期並みと業界全体の伸びを下回る結果となりました。

このような事業環境のもと、当社は中長期ビジョン「Quest Vision2030」(※1)の第1期である「2021-2023年度・中期経営計画」で掲げた「事業構造の変革」、「産業ポートフォリオの変革」、「事業体質の変革」の基本方針のもと、当連結会計年度は持続的成長と新たな強みを生み出す準備と仕込みを念頭に活動を展開しています。その結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は以下のとおりとなりました。

売上高は、前連結会計年度第4四半期から継続して半導体分野顧客の投資抑制による影響はあったものの、需要の高い金融分野顧客や他の産業分野顧客へリソースを柔軟にシフトすることにより、前年同期並みの105億88百万円となりました。

利益については、半導体メモリ産業の市況悪化の影響を受けたことにより同産業分野での売上減少はあったものの、ポートフォリオ経営のもと他産業分野顧客案件へのシフト等により、売上総利益は対前年同期比において増加となりました。

一方、前年度より継続している長期的な視点に立ったソリューション開発投資、人材育成投資、採用強化、マネジメント強化の実施に加え、職場環境改善のための投資等により、営業利益は7億91百万円(前年同期比6.1%減)、経常利益は8億40百万円(前年同期比6.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億65百万円(前年同期比6.3%減)となりました。なお、半導体市況の悪化、本社オフィス移転の費用計上は、リスクとして織り込み済みの内容であり、当初計画した経営数値に対しては順調に推移しています。

連結会計の適用に伴い、一定期間において顧客関連資産及びのれんの償却費用が計上されることとなります。比較可能性を担保するための指標として、当第3四半期連結累計期間におけるEBITDA(※2)は9億70百万円、EBITDAマージン(※3)は9.2%となりました。参考値として、前第3四半期連結累計期間のEBITDAは10億15百万円、EBITDAマージンは9.6%となります。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

システム開発事業については、金融分野顧客、エレクトロニクス分野顧客における開発案件の受注が対前年同期比で10%を超えて増加したものの、主要顧客である半導体分野顧客の開発案件受注が減少したことにより、売上高は64億46百万円(前年同期比1.4%減)、セグメント利益は10億94百万円(前年同期比2.2%減)となりました。

インフラサービス事業については、システム開発事業と同じく半導体分野顧客に対するサービス提供が減少したものの、エレクトロニクス分野顧客、金融分野顧客においてそれぞれ11%、7%程度増加したことにより、売上高は41億31百万円(前年同期比2.5%増)、セグメント利益は7億23百万円(前年同期比15.1%増)となりました。

(注)1. セグメント間取引については、相殺消去しています。

2. セグメント利益については、全社費用等の配分前で記載しています。

※1. Quest Vision2030: 当社のウェブページをご参照ください。

[https://www.quest.co.jp/irinfo/quest\\_vision2030/](https://www.quest.co.jp/irinfo/quest_vision2030/)

2. EBITDA: 税金等調整前四半期純利益+支払利息+減価償却費+顧客関連資産償却費  
+のれん償却費

3. EBITDAマージン: EBITDA÷売上高

(2) 財政状態に関する説明

<資産>

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は89億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億25百万円減少しました。これは主に現金及び預金が2億99百万円減少したこと、のれんが57百万円減少したこと、顧客関連資産が31百万円減少したこと、金銭の信託が2億円増加したこと等によるものです。

<負債>

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は23億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億67百万円減少しました。これは主に賞与引当金が4億6百万円減少したこと、未払法人税等が1億81百万円減少したこと、買掛金が46百万円減少したこと等によるものです。

<純資産>

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は66億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億42百万円増加しました。これは主に利益剰余金が3億19百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が9百万円増加したこと等によるものです。利益剰余金については、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により5億65百万円増加し、配当金の支払いにより2億46百万円減少しています。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表した業績予想から修正は行っていません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,659,343	2,359,703
受取手形、売掛金及び契約資産	3,018,122	3,039,350
金銭の信託	—	200,000
仕掛品	2,860	3,867
その他	393,737	441,830
流動資産合計	6,074,064	6,044,751
固定資産		
有形固定資産	207,462	227,274
無形固定資産		
顧客関連資産	505,168	473,595
のれん	305,916	248,557
その他	13,327	16,210
無形固定資産合計	824,412	738,363
投資その他の資産		
投資有価証券	1,174,098	1,194,166
その他	762,063	712,370
投資その他の資産合計	1,936,161	1,906,536
固定資産合計	2,968,036	2,872,174
資産合計	9,042,101	8,916,925

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	462,293	415,768
未払法人税等	204,103	22,933
契約負債	42,867	22,887
賞与引当金	722,535	315,910
役員賞与引当金	5,831	5,070
プロジェクト損失引当金	1,404	567
その他	876,644	945,601
流動負債合計	2,315,680	1,728,739
固定負債		
役員退職慰労引当金	45,275	53,725
退職給付に係る負債	262,366	264,517
その他	152,892	262,047
固定負債合計	460,533	580,289
負債合計	2,776,213	2,309,029
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	491,031	491,031
資本剰余金	603,313	607,586
利益剰余金	4,933,734	5,253,007
自己株式	△97,650	△93,829
株主資本合計	5,930,428	6,257,795
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	395,387	404,698
退職給付に係る調整累計額	△59,928	△54,597
その他の包括利益累計額合計	335,458	350,100
純資産合計	6,265,887	6,607,896
負債純資産合計	9,042,101	8,916,925

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	10,583,622	10,588,347
売上原価	8,632,293	8,578,076
売上総利益	1,951,329	2,010,270
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	364,513	359,147
賞与引当金繰入額	28,146	30,525
役員賞与引当金繰入額	13,332	9,239
退職給付費用	8,847	9,681
役員退職慰労引当金繰入額	—	11,725
その他	693,454	798,295
販売費及び一般管理費合計	1,108,294	1,218,615
営業利益	843,035	791,655
営業外収益		
受取利息	11	12
受取配当金	30,002	30,047
投資事業組合運用益	—	4,836
持分法による投資利益	15,454	8,371
その他	7,673	8,277
営業外収益合計	53,141	51,544
営業外費用		
支払利息	229	456
固定資産除却損	—	2,196
投資事業組合運用損	697	—
その他	2	0
営業外費用合計	929	2,652
経常利益	895,247	840,547
税金等調整前四半期純利益	895,247	840,547
法人税、住民税及び事業税	146,950	81,318
法人税等調整額	145,091	193,914
法人税等合計	292,042	275,233
四半期純利益	603,205	565,314
親会社株主に帰属する四半期純利益	603,205	565,314



四半期連結包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	603,205	565,314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,305	13,782
退職給付に係る調整額	4,986	5,330
持分法適用会社に対する持分相当額	4,274	△4,471
その他の包括利益合計	△3,045	14,641
四半期包括利益	600,160	579,956
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	600,160	579,956

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。